 シリーズ「きょうだいの思い」 52

『アカチャン』

妊娠中、私の大きくなったお腹に手をやって、弟に「お姉ちゃんのお腹、大きいやろう。赤ちゃんが入ってるねんで」と伝えた。ワカルのか、ワカラナイのかは別にして、とりあえず『大きなお腹=赤ちゃん』とだけ伝えた。

弟は「アカチャン」とオウム返しをした。産後は、実家が近いこともあり、弟の生活リズムを崩さないために自宅で過ごした。少しが過ぎた頃、母が弟を連れて我が家に来た。部屋に入った弟は、一瞬だけ視線を赤ちゃんへ向けた後にすぐ私の上着をペロッとめくった。想定外の弟の行動に驚いたが、お姉ちゃんのお腹が小さくなった確認をして赤ちゃんが出てきたのを理解した事と、妊娠中に「赤ちゃんが入ってるねんで」と弟へ説明していた言葉を、わかっていたのだと感じて嬉しくもあった。

これはわずか数秒の場面だったが「お姉ちゃんのお腹から赤ちゃんが出てきたで」というと、「アカチャン」とだけ言って、その後はいつものように我が家の冷蔵庫を開けたり、興味のある物を触り、普段と変わらないドライな弟だった。

少し時間が過ぎて、赤ちゃんを抱っこさせてみた。胡坐の上に出した両手に赤ちゃんを載せる格好だったが、嫌がることもなく、かと言って嬉しがることもなく、少し戸惑いのある表情だった。


お姉ちゃんの家には赤ちゃんがいることは、弟にとって大きな変化だったと思う。それまでとは違い、私が弟と共に過ごす時間は赤ちゃんが中心になる場面が増える。一見ドライな弟でも、周りの人の変化を感じ取っているのだから、私は心身両面で赤ちゃんばかりに気が向かないようにした。母に関しては、弟の前で赤ちゃんを抱くようになったのは数か月してからだった。会う回数を重ねて、弟の様子を見計らって、ようやく母が赤ちゃんを抱いた。その光景は今でも鮮明に覚えている。弟は無関心のように『オカアサン』が『アカチャン』を抱いているのを視界にして、しっかり感じていたはずだ。

当然のことながら、それまでの長い長い年月、両親や私は弟を中心にした家族だった。自閉症や知的障がい者の家族なら十分にわかってもらえると思う。赤ちゃんの誕生によって、両親と私の関心がそちらばかりに向くと、弟のヤキモチまでとは言わないが、それに近い感情が、落ち着かない日々やパニック等が出てしまわないよう、母は特に気を配っていたように思う。

前穂通信 まえほつうしん

発行日	2017年8月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



 知的ガイドヘルパー養成講座

人材の養成及び、障がい（児）者の社会参加促進の一環として知的障害（児）者移動支援従業者養成研修の定期的な実施に取り組んでおります。次回は9月3日（日）、10日（日）の予定で、日曜日の開講となります。2日間の研修での資格取得となり、お知り合いなど、ご興味をお持ちの方、ご一報お待ちしております。

 暑中お見舞い申し上げます～熱中症～

毎日暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか？

特にこの季節は熱中症にはお気を付け下さい。症状として、①めまいや顔の火照り②筋肉痛や筋肉のけいれん③体のだるさや吐き気、頭痛④汗のかきかた～汗が出ない、または汗が出続ける⑤体温が高く、皮膚の異常⑥呼びかけに反応しない・まっすぐ歩けない⑦水分補給ができない⇒救急や医療機関での診察が必要。これらの症状が出たら適切な対応を！まずは涼しい場所に移動し、身体を冷やして体温を下げます⇒水分や塩分の補給を行います（嘔吐症状や意識がない場合は無理やり水分補給はやめましょう）⇒医療機関や救急車を呼びます。今後も前穂は熱中症には十分注意致します。皆様どうかお気を付け下さい。